



SEKAISHISO SEMINAR

インターネット空間の 社会学

情報ネットワーク社会と公共圏

吉田 純

世界思想社

インターネット空間の社会学 ——情報ネットワーク社会と公共圏——

目 次

序 論 情報ネットワーク社会への視点 1

第1章 情報ネットワーク社会の形成 13

- 1 はじめに 13
- 2 日本社会の「情報化」 18
——「情報化社会」から「情報ネットワーク社会」へ——
- 3 インターネット空間の形成 30
- 4 インターネット空間の変容 39
- 5 情報ネットワーク社会のアンビヴァレンス 44

第2章 〈仮想社会〉と〈現実社会〉 51

- 1 はじめに 51
- 2 〈仮想社会〉の構築 54
——ネットワーク性・匿名性・自己言及性——
- 3 パソコン通信からインターネットへ 62
——〈仮想社会〉の可変域の拡大——
- 4 パソコン通信におけるコミュニケーション 68
——参与観察による検討——
- 5 〈仮想社会〉と〈現実社会〉の相互浸透 79
- 6 二つの〈社会〉への視点 91

第3章	インターネット空間への社会学的視座	95
	——モダン・アプローチとポストモダン・アプローチ——	
1	はじめに	95
2	仮想空間のモデルをめぐる言説の布置	97
3	モダン・アプローチとポストモダン・アプローチ	102
4	本書の視座——モダン・アプローチの批判的継承——	119
第4章	情報ネットワーク社会における討議と民主主義	121
1	はじめに	121
2	電子民主主義論の理論的展開	124
3	電子民主主義におけるミクロとマクロ	131
	——ハーバーマスの生活世界／システム図式を手がかりに——	
4	マクロな電子民主主義	134
	——電子メディアによる市民の政治参加——	
5	公共圏というテーマへ	139
第5章	情報ネットワーク社会における公共圏	143
	——ハーバーマス理論の応用に向けての試論——	
1	はじめに——公共圏概念の位置——	143
2	公共圏概念の理論的検討	145
3	情報ネットワーク社会における公共圏の可能性	149
4	ミクロ公共圏	156
	——パソコン通信フォーラムにおける討議——	
5	マクロ公共圏——米・通信品位法をめぐる——	158
6	結びにかえて——理論的ラフスケッチ——	165
付論	ハーバーマスにおける公共圏論の形成と展開	171
1	はじめに	171

2	『公共性の構造転換』	174
3	『公共性の構造転換』以後	185
4	民主的法治国家の基盤としての公共圏	188
	——『事実性と妥当性』——	
5	公共圏概念の再構成に向けて	196
	——メルッチの「公共空間」論を手がかりに——	
	引用・参考文献	200
	人名索引	208
	事項索引	210
	あとがき	215

凡 例

・本書での文献表示の形式は、原則として日本社会学会の『社会学評論スタイルガイド』（<http://www.kyy.saitama-u.ac.jp/~fukuoka/JSRstyle.html>）に従っている。

・本文中の〔 〕は、引用文中および学説や既存研究の紹介をおこなっている箇所において、〔 〕内が筆者の視点から挿入した補足であることを意味する。

（例）公共圏という社会空間は、やがて物理的現前から離れて、メディアによって媒介された仮想的な空間へと拡張し「抽象化」する。しかしこの抽象化・仮想化の後も、公共圏の社会空間としての特性が失われることはない。〔たとえばパソコン通信の電子会議室が「フォーラム」と呼ばれるように〕かつて公共圏の物理的空間に与えられた「取り囲まれた空間をあらわす建築的比喩」がしばしば用いられるという事実が、そのことを示している。（本書第5章より）

・欧文献からの引用に際して、邦訳のあるものは適宜参考にさせていただいた。ただし文脈を考慮して訳したため、必ずしも邦訳に従っていない場合がある。それぞれの訳者の方々にお礼を申し上げたい。

人名索引

ア行

- アドルノ 183, 186
阿部潔 172
アンダーソン 103
伊藤守 3, 4, 18, 20, 29
今井賢一 7, 25, 99, 101
イリイチ, イワン 32, 33
梅棹忠夫 19
エス, チャールズ 108-110, 127-131, 134, 135
エスポーシト, エレーナ 113-115
遠藤薫 52, 92, 103, 104
大西行雄 81, 82
岡田朋之 5, 6
奥野卓司 58

カ行

- カステル 4
嘉田由紀子 81, 82
加藤晴明 18, 26, 27, 92, 98, 100, 101, 117, 120
金子郁容 25
カント 186
キースラー 125
ギデンズ 4, 168
ギブスン, ウィリアム 52
公文俊平 99, 101
クリントン 42, 161
クロッカー, ステイープ 36, 37
ゴア, アル 40, 42
ゴフマン 91

サ行

- 佐藤俊樹 166, 167
サーフ, ヴイント 36, 37
シュッツ 91
杉山あかし 53, 97, 98, 156, 157
スプロウル 125

タ行

- ツァガルシアス 136, 138, 139
テリダ 109
トクヴィル, アレクシス・ド 181

ナ行

- 成田康昭 7, 26, 27, 98, 100, 111, 112, 116, 118
西垣通 8, 49, 51
ネルソン, セオドア (テッド) 113
野崎賢也 86, 87

ハ行

- バーガー 91
花田達朗 3, 4, 18, 20, 29, 172
ハーバースマス 4, 5, 8-11, 47, 76, 81, 102, 106, 108, 111, 119, 123, 127, 129, 130, 132, 133, 141, 143-145, 147-149, 151, 154, 157, 164, 166-168, 171-175, 179, 183-199
バーロウ, ジョン・ペリー 162, 163
ハワード・ラインゴールド 52
ハンナ・アレント 175
フェルゼンシュタイン, リー 33

フーコー 187
藤田高弘 97
ベック, U. 199
ベル, D. 3, 19
千川剛史 26, 97-99, 107-110
ポスター, マーク 14, 101, 109-112,
129, 198
ホルクハイマー 186

マ行

マッキーバー 53
マルクス 181
マントヴァーニ, ジュゼッペ 125-127,
136

三上剛史 198, 199
ミル, ジョン・スチュワート 181
メルッチ, A. 173, 196-199
森岡正博 53, 59

ヤ行

安川一 53, 98, 156, 157
吉見俊哉 82

ラ行

ライアン, D. 14, 102, 103
リオタール 102
ルーマン 113, 115, 188

事項索引

A - Z

ARPANET 30, 31, 34-36
BBS 33-35, 43, 52, 55, 64, 67-69, 72-74,
76-78, 81, 99, 113, 134
CATV 20, 25, 124
CMC 79, 91, 101-103, 107-111, 115, 125,
126
CMCネットワーク 4, 5, 7, 9, 13, 14,
18, 22, 25, 26, 51, 55, 57, 62, 80, 90,
97, 106, 107, 123-125, 128, 129, 131-
135, 137, 139, 140, 144, 155
COARA 26, 56, 98
CUG 66
EFF 43, 44, 47, 150, 159, 162, 163, 165
NGO 45, 46, 48, 80, 198, 199
NIFTY-Serve 24, 56, 66, 67, 80, 97, 117,
156
NPO 46, 48, 198, 199
NSFNET 36
PC-VAN 24, 56
PEN 26, 135, 137
RFC 36-38, 46, 123, 151, 152, 166
ROM 69, 73, 74-76
TCP/IP 35, 37, 38
UNIX 34, 35, 46
USENET 34-36, 52, 160
WWW 41, 46, 55, 63, 64, 83, 87, 113-
115

ア行

アクセス権 136, 137, 140, 151, 152

新しい社会運動 193, 194, 196
意図せざる結果 16, 17
インターネット 1, 2, 4, 7-10, 13-18,
22-24, 27, 29-31, 35-49, 51, 52, 54-58,
62-68, 79, 80, 83-87, 89, 91, 95, 96,
107, 108, 111, 113, 120, 122, 123, 130,
131, 133, 144, 150-153, 158-168, 188
インターネット空間 10, 30, 39, 49, 52,
64-66, 68, 90, 95, 96, 102-109, 111-113,
119-123, 132, 144, 145, 150-155, 159,
160, 162, 164-169, 199
ヴァーチャル・コミュニティ 52, 104
オフライン・ミーティング 58, 59, 61,
69, 77-79, 84, 87

カ行

顔文字 61
仮想空間 52, 66-70, 77, 95, 96, 100,
101, 104, 109, 112, 113, 119, 131, 132,
134, 137, 138, 151, 155, 157, 167
仮想偶有性 112, 113, 115
仮想社会 9, 10, 53, 54, 57, 58, 60-62,
64, 66, 68, 79, 80, 82, 85, 86, 88-93, 95,
96, 100-103, 105, 106, 108, 110-112,
117-120, 168
監視社会 14, 21, 111, 168
管理社会批判論 21
技術決定論 3-5, 7, 9, 13, 19, 21, 28, 29,
123-126, 128, 136, 144
草の根ネット 56
経済システム 4, 5, 13, 19, 20, 41, 46,
47, 106, 133, 152, 153, 155, 160, 165,

- 167, 190, 193
 現実社会 9, 10, 53, 54, 58, 60, 62, 64,
 79, 80, 82, 83, 86, 88-93, 96, 100-102,
 105, 106, 108-112, 117, 118, 120
 顕示的公共圏 175, 177
 公共空間 104, 139, 173, 190, 196-199
 公共圏 4, 5, 8-10, 26-28, 81, 96-98, 106-
 108, 111, 112, 119-121, 123, 128, 139-
 141, 143-155, 157, 158, 164-169, 171-
 179, 181-199
 【公共性の構造転換】 106, 143, 172-174,
 183, 185, 187, 190
 高性能コンピューティング法 40, 42
 個人情報 14, 29, 42, 71, 72, 76, 111, 122,
 153
 個人情報の保護 29, 111, 153
 湖鮎ネット 81, 82, 90
 コミュニケーションの行為 10, 119,
 145, 189-191, 195
 コミュニケーション的合理性 129,
 144, 146, 171, 192, 195
 コンピュータ・リテラシー 85, 88
- サ 行**
- サイバースペース 9, 44, 49, 51, 52, 79,
 89, 102, 162
 サーチエンジン 63
 自己言及性 53, 58, 60, 62, 101, 105,
 114, 148, 149, 151, 155, 156, 168, 169
 【事実性と妥当性】 173, 189, 197
 システム 4, 5, 8, 13, 17, 21, 22, 28, 29,
 38, 42, 44, 45, 48, 53, 56, 64, 73, 81,
 97, 103, 104, 107, 113, 123, 132, 133,
 135, 137-140, 146, 155, 167, 168, 171,
 188, 189, 193, 195, 199
 私的生活圏 148, 151, 153, 157, 158, 182,
 183, 185, 193, 195
 市民的公共圏 97, 107, 112, 133, 146,
 147, 149, 167, 173, 174, 176, 179, 181-
 183, 186, 187
 情報化 1-7, 13, 17-22, 24-29, 38, 51, 55,
 83-86, 90
 情報格差 48, 136, 152, 153
 情報化社会 4, 6, 26, 51
 情報化社会論 13, 18, 19, 22
 情報公開 29, 34, 37, 41, 135; 153, 163,
 184
 情報スーパーハイウェイ構想 42
 情報ネットワーク社会 1, 6-10, 13-15,
 17, 18, 44, 49, 50, 92, 96, 120-123,
 127, 131, 139-141, 145, 149, 152, 154,
 165-168
 情報ボランティア 45, 80
 情報民主主義 28, 29, 34, 38, 41, 43, 44,
 47, 48, 153, 163
 情報リテラシー 108
 商用ネット 24, 56
 生活世界 1, 2, 4, 5, 8, 10, 13, 14, 17, 20,
 22, 25, 28, 29, 38, 41, 42, 44, 45, 47, 49,
 53, 55, 91, 96, 98, 100, 107, 123, 131-
 133, 137-140, 144, 148, 149, 155-158,
 167, 168, 188-190, 193-195, 197
 生活世界の合理化 132, 158, 195, 198
 政治・行政システム 5, 13, 29, 138, 153
 政治／経済システム 2, 10, 37, 38, 42,
 45, 46, 48, 96, 107, 137, 167
 政治システム 4, 20, 21, 42, 48, 49, 106,
 122, 132, 133, 139, 140, 146, 148, 153,
 155, 156, 159, 160, 167, 189, 190, 193-
 195, 197, 199
 政治的公共圏 146, 156, 177-180, 187,
 188, 190, 196
 戦略的行為 118, 119
- タ 行**
- 地域ネット 56, 98

通信品位法 47, 138, 151, 159-165
通信傍受法 49
電子会議室 34, 55, 68-70, 113, 147
電子掲示板 34, 35, 55, 66, 69, 160
電子ネットワーク社会論 25
電子民主主義 10, 96, 106, 108, 109,
111, 123-125, 127-140, 155, 163
電子メール 1, 30, 31, 34, 41, 42, 55, 56,
63, 65, 76, 118, 135, 163
電腦中津川小学校 87-90
討議 10, 76, 99, 104, 112, 128-130, 132,
135, 140, 141, 156, 157, 164
討議倫理 129, 130
討議倫理学 129, 141
匿名性 47, 48, 50, 53, 58-62, 65-69, 91,
101, 102, 104, 110-112, 118, 138, 153,
167
ドメインネーム 65

ナ行

ニュースグループ 34, 41, 42, 63-67,
113, 160
ニューメディア 19-22, 25, 27, 85
ネチケット 37, 123
ネットニュース 34, 66
ネットワーク社会論 22, 27, 29, 58, 97-
101
(電子) ネットワーク社会論 26, 28
ネットワーク性 48, 58, 60, 62, 64, 66-
68, 80, 85, 90, 91, 101, 102, 138, 150,
152

ハ行

ハイパーテキスト 64, 113-115
パソコン通信 4, 9, 15, 22-28, 34, 51,
52, 54-59, 62-69, 77, 79-81, 83, 91, 95-
101, 107, 116, 117, 144, 147, 156-158
ハッカー 32-34, 38, 41, 43, 163, 166,

167

ハッカー文化 30, 32, 35, 36, 38, 41-44,
131, 134, 160, 166
ハンドル 59, 65, 70
ビデオテックス 21, 27
批判的公共圏 143-145, 154, 165
表現の自由 43, 108, 136-138, 140, 156,
161, 162, 164
ファイル・ライブラリ 55, 56
不正アクセス 14, 42, 65, 122
不正アクセス禁止法 2
フリーソフトウェア 46, 56
フリーライダー 42
ブルー・リボン・キャンペーン 162-
164
フレーミング 42, 60, 66
文芸的公共圏 146, 156, 166, 176-179,
182, 191, 196
ポストモダン・アプローチ 10, 96,
105, 106, 109, 112, 113, 115, 116, 119-
121, 123, 167
ホームページ 2, 15, 16, 41, 43, 83, 84,
87, 151, 159, 162, 163

マ行

マクロ公共圏 155, 156, 159
マクロな電子民主主義 123, 132, 134,
137-139
マクロな(電子)民主主義 155
ミクロ公共圏 140, 155-158
ミクロな電子民主主義 131, 133, 134,
137
ミクロな(電子)民主主義 155
メーリングリスト 30-32, 34, 41, 42,
52, 66, 67, 84, 87, 130, 131, 134
モダン・アプローチ 10, 96, 105, 107,
111, 115, 116, 119-121, 123

ヤ行

山田村 83-86, 88-90

ラ行

リンク 64, 113, 163

著者紹介

吉田 純 (よしだ・じゅん)

1959年 大阪市生まれ

京都大学大学院文学研究科博士後期課程中途退学。

現在 京都大学大学院文学研究科助手 (社会学)

論文 「ハーバーマスにおける芸術と政治——美的公共圏の可能性にむけて」(『京都社会学年報』第5号、1997年)、「情報ネットワーク社会への社会学的視座——〈仮想社会〉と公共圏をめぐって」(中久郎編『持続と変容』、ナカニシヤ出版、1999年)、「情報ネットワーク社会における規範形成——『電子民主主義』論を中心に」(越智貢・土屋俊・水谷雅彦編『情報倫理学——電子ネットワーク社会のエチカ』、ナカニシヤ出版、2000年)他

共訳 ユルゲン・ハーバーマス『新たな不透明性』(松籟社、1995年)

E-mail jun@socio.kyoto-u.ac.jp

ホームページ <http://www.socio.kyoto-u.ac.jp/~jun/>

インターネット空間の社会学 ——情報ネットワーク社会と公共圏——

2000年7月30日 第1刷発行

定価はカバーに
表示しています

著者 よしだ じゅん
吉田 純

発行者 高島国男

世界思想社

京都市左京区岩倉南桑原町56 〒606-0031
電話 075(721)6506(代)
振替 01000-6-2908

©2000 J. YOSHIDA Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取替いたします

(大洋社)

ISBN4-7907-0825-X